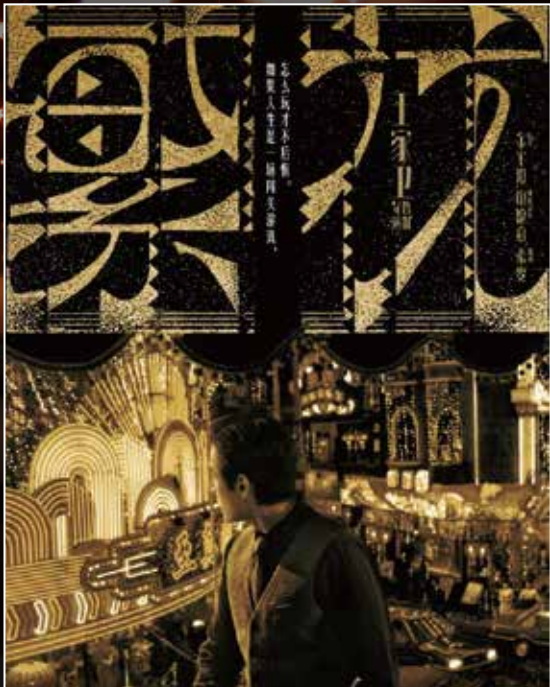


『繁花』をもっと楽しむガイド

昨年末に公開後大ヒット! 1990年代の上海を舞台にしたドラマ『繁花』の見どころや撮影スポットをしっかりと解説。もう見た人もこれから見る人も、チェックしてみて。



繁花

監督:王家衛

主演:胡歌、馬伊琍、唐嫣、辛芷蕾ほか

公開:2023年12月27日(水)～ 全30話

あらすじ

1987年、上海。上海生まれの青年阿宝は、起業して大富豪になることを夢見て、爺叔のもとを訪れる。無理難題を乗り越え、爺叔の支持のもと富豪の社長、宝総に生まれ変わった彼だが、ある日突然車にひかれ…富と愛情を巡って様々な人間が交錯する。

キーワード① 1990年代の上海

物語の舞台となるのは、1990年代の上海。政策の変更により好景気の波が到来し、誰もが一攫千金を狙って息巻いていた時代だ。出演陣のゴージャスな衣装や調度品に加え、時折挟まれる当時の人々の熱気あふれる様子が、勢いと活気あふれる当時の上海を思い出させる。

キーワード② 中国株

このドラマは株取引が大きな鍵を握る。上海・深センに証券取引所が開業したのは1990年で、取引所には株を求める市民が殺到したという。ドラマでは、株を巡る陰謀や売買取引をメインに話が進んでいくので、株についての知識がないと少し理解が難しいところもあるかも。



『繁花』を読み解く6つのキーワード

キーワード③ 金と人情

主人公の宝総には、たくさんのビジネスパートナーが存在する。最初はお互いに信頼しあっていた仲でも、利益や信念のために対立したり、離れていったりすることも。人間関係が複雑でやや難解だが、金儲けの裏で動く人情や愛情がこのドラマの見どころ。



キーワード④ 懐メロ

ドラマには昔懐かしい懐メロ挿入歌が多数。当時流行した香港のロックバンド「Beyond」の「喜欢你」やジャッキー・チュン(張学友)の「偷心」など国内のナンバーはもちろん、小田和正の「ラブストーリーは突然に」、石川さゆりの「有楽町で逢いましょう」など日本の曲も流れる。

キーワード⑤ グルメ

ヒットドラマにはおいしいそうな食事シーンがつきもの。「繁花」にもたくさんの上海グルメが登場し、宝総が愛する上海風茶漬「泡飯」や、上海ローカルB級グルメの代表格であるスベアリブと揚げ餅の「排骨年糕」、揚げパン「油条」など、思わずお腹が空いてくるシーンが話題に。



キーワード⑥ 日本

ストーリーには少し日本が関係している。宝総が出資している料理店は「夜東京」という日本料理店。さらに宝総といくつかの登場人物は、日本で運命的な出会いを果たしている。日本の懐メロも複数流れ、ドラマからは上海だけでなく、日本の古き良き時代も垣間見られる。



ドラマを感じる上海オススメスポット



上海影視樂園

ドラマで度々出てくる「黄河路」や「進賢路」は、上海市松江区的映画撮影基地「上海影視樂園」でセットを組み、撮影したもの。ネオン輝く歩行街は圧巻で、ぜひ夜に出かけてオールド上海を感じてみて。

📍 松江区車墩鎮影佳路366号
☎ 5760-1166
🕒 8時半～17時半



上海市銀行博物館

新天地エリアにある、お金や銀行の歴史を展示する博物館。株についての資料やジオラマも充実しており、当時の株売買に対する熱気を感じることができる。ほか、中国初の紙幣など貴重な資料を展示する。

📍 復興中路301号
☎ 6312-9005
¥ 5元/人
🕒 9時半～16時(月、水、金、日は休館)



黄河路

人民広場から北に伸びる「黄河路」。ここには、ドラマで登場する煌びやかなレストラン「至真園」のモデルとなった上海料理レストラン「苔聖園」や、劇中でよく食事シーンがある上海料理店「粵味館」がある。黄河路のグルメストリートがオープンしたのは1993年のこと。現在に至るまで様々な飲食店が入れ替わり立ち替わり営業した。クッキー「蝴蝶酥」が有名な「上海国際飯店」も黄河路にあり、現在は路上で写真撮影に訪れる市民が後を絶たないんだとか。



進賢路

黄浦区にある小路「進賢路」。「繁花」では、宝総が投資する日本食レストラン「夜東京」がある道となっているが、残念ながらこのレストランのモデルとなっている飲食店はないようで、住所も実在しない。ただ進賢路は「夜東京」と同じく、庶民向けの小ぢんまりとした雰囲気のレストランや上海アンティーク店などが並んでおり、雰囲気味わいに行くと楽しい。「ミシュランガイド」にも選ばれた上海料理の老舗「蘭心餐厅」もここにある。